

第37回全国大学等遺伝子研究支援施設連絡協議会総会議事要旨

日時：令和3年11月19日（金）9：30～12：10

場所：オンライン Web 会議（ZOOM Webinar）

1. 開会の辞

群馬大学 代表幹事 畑田氏から開会の挨拶があった。

議事に先立ち、当番校の沖縄科学技術大学院大学が議事を、司会進行・議長を同大学 田中氏が務める旨提案があり、了承された。（ZOOMにて反対がないことを確認）

2. 議事

1) 新規会員等の参加承認

新規会員等の参加承認について、全国大学等遺伝子研究支援施設連絡協議会（以下、「遺伝子協」）事務局 古関氏により説明があり、合計5機関が加入することが承認された。（ZOOMにて反対意見がないことを確認）

2) 文部科学省施策説明

1 カルタヘナ法について

文部科学省 研究振興局 ライフサイエンス課 生命倫理・安全対策室 専門職 田崎氏より、カルタヘナ法における以下の点に関して資料に基づき説明があった。

- ・カルタヘナ法の概要について
- ・研究開発段階の第一種及び第二種使用等について
- ・拡散防止措置の大臣確認について
- ・研究二種告示の改正について
- ・不適切事例について
- ・事故時の応急措置の事例について
- ・災害発生時における拡散防止お措置に係る対応について

施策説明後、質疑応答が行われた。

商用化されている GABA 高蓄積トマト（ゲノム編集生物）を実験室で栽培するときの拡散防止措置についての質問があった。文科省 田崎氏より、栽培自体は拡散防止措置は必要ないが、実験でどのように使用するかで対応が異なるので、個別事案については文科省に問い合わせてもらいたい旨の回答があった。

名古屋大学 井原氏から、レンチウイルスベクターを用いて大腸菌でクローニングする実験は P1 か P2 かの質問があった。文科省 田崎氏より、個別事案については文科省に問い合わせてもらいたい旨の回答があった。

2 学術研究に関する政策の動向について

文部科学省研究振興局大学研究基盤整備課 研究設備係長・研究支援係長 中村氏より、学術研究に関する政策の動向における以下の点に関して資料に基づき説明があった。

- ・文科省の組織改編について
- ・大学研究力強化委員会の設置について
- ・国立大学法人等の第4期中期目標に向けた検討について
- ・研究設備・機器の共用化のためのガイドライン等の策定について
- ・関係事業の令和4年度の概算要求について
- ・大学研究基盤整備課について

施策説明後、質疑応答が行われた。

東京工業大学 鵜飼氏から、配布資料が共有可能かについての質問があった。文

科省 中村氏より、資料の共有は可能との回答があった。

補足：文科省等の資料については、ウェブサイト等で遺伝子協会員がダウンロードできるように措置し、会員にメールで連絡することとする。（遺伝子協 事務局）

3) 事業報告

1 クラウド型会員管理・会計管理システムの導入

遺伝子協 事務局 古関氏から、スライドを使って三菱 UFJ 銀行 BizStation、Google Workspace 及びスマートコアについての説明があった。

2 第13回遺伝子組換え実験安全研修会

金沢大学 副代表幹事 西内氏から、資料に基づき説明があった。

4) 委員会等報告

(1) 幹事会

(2) 広報委員会

(3) 組換え生物等委員会

(4) 教育教材ワーキンググループ

(5) Gene Drive ワーキンググループ

(6) 続・ゲノム編集ワーキンググループ

(7) 遺伝子組換えカビ・キノコ・コケの拡散防止措置ワーキンググループ

(8) 実験計画書書式・審査検討ワーキンググループ

(1)から(8)まで、金沢大学 副代表幹事 西内氏から、資料に基づき説明があった。

(9) 将来構想ワーキンググループ

広島大学 監事 田中氏から、資料に基づき説明があった。

5) 会則の変更について

広島大学 監事 田中氏から、資料に基づき、将来構想ワーキンググループでの議論を基に、会の名称を「遺伝子研究安全管理協議会」に変更するなどの会則の変更について説明と提案があった。

京都大学 清水氏から、会則の変更に関して、会の名称に推進を付けるべきとの意見があった。広島大学 監事 田中氏及び群馬大学 代表幹事 畑田氏が、将来構想ワーキンググループや前年の総会の議論などを説明し、提案について理解を得た。グループフォームによる投票の結果、本案は承認された。

6) 委員会について

広島大学 監事 田中氏から、資料に基づき、将来構想ワーキンググループでの議論を基に、委員会の構成案について説明と提案があり、承認された。（ZOOM にて反対がないことを確認）

7) 決算報告

熊本大学 副代表幹事 荒木氏から、資料に基づき2020年度の決算報告書について説明があった。

引き続き、理化学研究所 監事 吉識氏から2020年度決算報告書について広島大学 監事 田中氏と会計監査を実施し、適切に処理されていることを確認した旨の報告があった。これに対し、特段の意見はなく、承認された。（ZOOM 挙手機能にて反

対意見がないことを確認)

- 8) 事業計画、予算案
群馬大学 代表幹事 畑田氏から、資料に基づき2022年度の事業計画、予算案について説明があった。これに対し、特段の意見はなく、承認された。(ZOOM 挙手機能にて反対意見がないことを確認)
金沢大学 副代表幹事 西内氏から、次回安全研修会について説明があった。
- 9) 中間報告の廃止について
沖縄科学技術大学院大学 事務局 田中氏から、中間報告の廃止についての説明と提案があった。これに対し、特段の意見はなく、承認された。(ZOOM 挙手機能にて反対意見がないことを確認)
- 10) その他議事
その他議事について、提案はなかった。

休憩前に、参加者数60及び委任状1であること並びに定足数(正会員76の三分の二以上)を満たしていることが報告された。
3. 役員及び事務局
群馬大学 代表幹事 畑田氏から、資料に基づき役員と事務局の紹介があった。
4. 次回総会
理化学研究所 監事 吉識氏より次回総会が2022年11月18日に千里ライフサイエンスセンターで開催予定であることが紹介された。
5. その他
提案や意見などはなかった。
6. 閉会の辞
司会より閉会の挨拶があった。

以上